

COMPANY NOW



グループ全従業員の総力を結集し、
挑戦し続ける

株式会社協和エクシオ



協和エクシオグループは、「技術力を培う」「豊かさを求める」「社会に貢献する」というグループ理念のもと、情報通信にかかわるすべての設備構築についての一貫したサービスを、一元的に、また全国的に提供してまいりました。

現在では、情報通信インフラのみならず、長年培ってきた環境・土木技術や電気設備技術などを活用した環境・社会インフラの構築や運用、さらに、ソフトウェア開発事業の分野においても、ICTとソフトウェアを融合したソリューションや各種アプリの開発などにも取り組んでいます。

はじめに

当社グループは、2016年5月に5カ年（2016年度～2020年度）の中期経営計画を策定しました（表1・図1）。「グループ総力を結集し、トータルソリューションで新たな成長ステージへ」というビジョンのもと、グループ一体で既存技術とサービスの融合に

よるエンジニアリング周辺事業などの拡大により、事業ポートフォリオの再構築を進め、システムソリューション事業を第2の柱へ育成するとともに、コア事業である通信インフラ構築関連の生産性・品質向上や徹底した効率化による収益力強化を図り、より強固な経営基盤の確立に努めています。

また、当社はこれまで社員1人ひとりがいきいきと働ける職場を目指し、各種制度の見直しなどによりワーク・ライフ・バランスの向上を図ってまいりましたが、2016年11月には「協和エクシオ働き方改革労使共同宣言」を発出し、総労働時間短縮への取り組みを強化するとともに、女性活躍推進を

はじめとしたダイバーシティ推進に積極的に取り組んでいます（写真1）。

新たな分野への事業展開

当社グループは、経営環境の変化に柔軟に対応しながら持続的な成長を果たすため、創立以来60年以上培ってきた「技術力」を根幹として多様な事業を展開しています。時代の変化の中で立ち上げてきた新事業をいくつかご紹介します。

(1) 環境事業

廃棄物処理や水処理、リサイクル施設や木質バイオマスボイラなどの再生可能エネルギー施設の建設および運

表1 業績目標（連結）

2020年度	
売上高	4,000億円
営業利益	300億円（営業利益率 7.5%）
ROE	10%
EPS	200円以上

※ ROE：自己資本利益率 EPS：1株当たり当期純利益

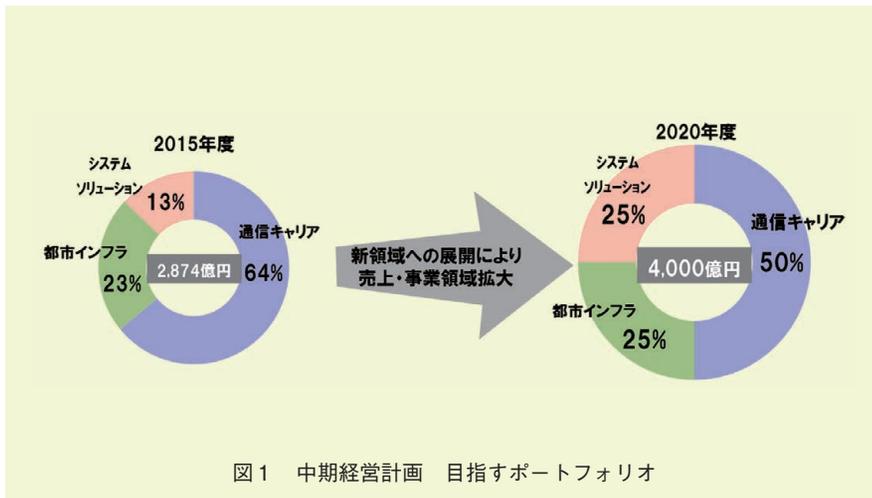


写真1 「協和エクシオ働き方改革労使共同宣言」

転・維持管理業務などの環境事業を展開し、地球環境保全と循環型社会の形成に貢献しています。これまでに青森県や和歌山県、沖縄県など全国各地の廃棄物処理施設の建設に携わり、一部の施設では運転・維持管理の役割も担っています（写真2）。

また、メガソーラーをはじめとする太陽光発電設備の建設を手掛けるとともに、発電事業にも注力しています。発電事業に関しては、2012年11月の当社「府中総合技術センター」（東京都府中市）での稼働開始から数え、2017年3月末時点でメガソーラー発電施設11カ所を含む全国16カ所で稼働しています（写真3）。

(2) ICTソリューション事業

情報通信インフラの構築をはじめとするハード面のエンジニアリングソリューション事業に加え、ソフト面のシステムソリューション事業に注力しています。例えば、地方自治体向けの

観光・防災アプリ「EXTravel」や、可搬型スマート電源「サバイバル電源」（写真4）、電力需要家向けのエネルギーマネジメントシステム「EnergyViewer」の開発を行っています。その他にも、次世代メッシュ型ビーコン「EXBeacon」（写真5）を活用したソリューション展開や、通信インフラ事業にクラウド技術を組み合わせたクラウド総合エンジニアリングの取組み強化など、これまで当社が培ってきた技術やノウハウを生かしたシステムソリューション事業を幅広く展開しています。特に当事業は、前述の中期経営計画の基本方針でも「第2の柱に育成する」ことを掲げており、計画達成へ向けて挑戦しています。

(3) 海外事業

世界のより良い、より快適な生活に貢献するため、グローバル事業の展開にも力を入れています。1991年に設立され、2012年に当社のグループ会

社となったMGエクシオは、日本品質の高度な技術を活用し、フィリピン国内の通信設備工事を担う地場に根付いている会社です。主にフィリピン国内の大手通信キャリアの設備工事を手掛けており、現在では日本人・フィリピン人をあわせ従業員が800名程度の規模となり、通信建設事業を通じて国民の生活レベルの向上に貢献しています。2014年には、フィリピン国内で最大の通信会社PLDT社から、バタガス州およびラグナ州全域の一般家庭やオフィスなどにおける宅内配線の新設および改修をはじめ、それらに関連する屋外の配線・設備の維持管理や改修工事等のすべてを受注しました（写真6）。

特に当社が大切にしていることは「品質」です。技術面の品質だけではなく、安心・安全の担保も重要な要素だと考えており、その考えを現地でも浸透させ、真に日本品質のサービスを



写真2 廃棄物処理施設



写真3 協和エクシオ東金ソーラーファーム



写真4 可搬型スマート電源「サバイバル電源」

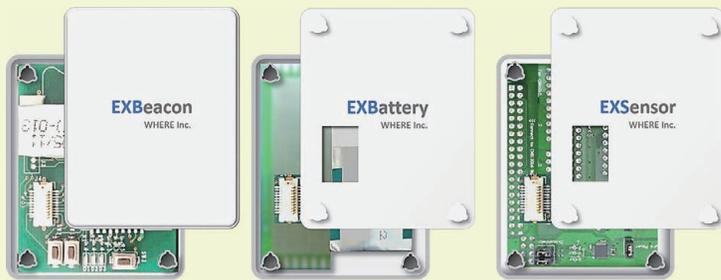


写真5 次世代メッシュ型ビーコン「EXBeacon」



写真6 フィリピン MGエクシオの工事風景



写真7 競技の様子



写真8 左より 牧野社員、清水社員、太田社員、内藤社員

提供できる会社を目指しています。2017年5月、現地にトレーニングセンターを建設しました。従業員の技術・技能向上に、より一層力を入れていきます。安心・安全については、現地の風習や文化を学び、現地にマッチしたルールを作ることで、従業員が安心して安全に働ける環境づくりに取り組んでいます。

最近では、フィリピン以外にもインドネシアやベトナムなどの案件にも積極的に参加しており、さらなる海外事業の展開を目指しています。

技能向上・人財育成への取組み

当社グループでは、“人財”第一主義を基本に、新入社員研修、階層別研修、技術研修、営業研修、選抜者研修など、さまざまな研修のほか、資格取得奨励制度や通信教育制度などの自己啓発支援を行い、成長機会の提供および社員による積極的な活用に力を注いでいます。

埼玉県和光市にある中央技術研修センターでは、通信インフラ施工にかかわる専門知識の講義や技術・技能研修、事故防止・安全確保など、特に現場で求められる実践的な技術を重点的に習

得するための研修を実施しています。当センタには、電柱・マンホール・無線鉄塔などの屋外模擬施設や光接続訓練用の各種装置、宅内工事用の屋内模擬施設などを備え、アクセス工事、移動通信工事等に必要な施工技術・安全確保対策を総体的に習得できるプログラムを用意しています。

当社グループの技能の高さを示すものの1つとして、技能五輪での実績があります。直近では、2016年10月に山形県で開催された「第54回技能五輪全国大会」において、“情報ネットワーク施工”職種に埼玉県代表として出場した当社の清水義晃社員が金メダルを獲得、太田卓也社員が銅メダル、牧野直征社員が敢闘賞を獲得しました(写真7・8)。同全国大会における当社の金メダル獲得は3大会ぶり、通算で6回目となりました。なお、清水社員は今回の金メダル獲得により、2017年10月にアラブ首長国連邦・アブダビで開催される「第44回技能五輪国際大会」情報ネットワーク施工職種に日本代表として出場することとなり、当社として5度目の世界一の座を勝ち取るべく、より一層の訓練に励んでいます。

すべての社員がいきいきと働ける職場を目指して

技術の進歩、市場の変化が激しい昨今、当社グループでは働きやすい職場環境づくりと業績向上の達成に向け、ダイバーシティを尊重し、多様な人材活用を推進することで社員1人ひとりが最大限に能力を発揮できる会社を目指しています。最近では、前述の中期経営計画の取組み施策の1つに「ダイバーシティの推進による組織活性化」を掲げ、本施策をより効果的・体系的に進めるために、2016年10月に人事部内に『ダイバーシティ推進担当』を設置し、さらなる整備を進めています。

(1) 女性活躍推進

2021年3月までに①女性社員の人数を25%増やす、②女性管理職の人数を2倍にする、という数値目標を掲げ、2015年より女性社員の意識向上やキャリア形成などを支援する研修をスタートしたほか、2017年2月に各職種・支店ごとに女性活躍推進役を配置し定期的に女性社員の意見を収集し議論する機会を設けるなど、女性が働きやすい環境づくりに向けた取組みを推進しています。

2016年には、女性活躍推進法に基づく女性の活躍推進に関する状況等が優良な「えるぼし」企業として、厚生労働大臣から最上位にあたる認定（3段階目）を受けました（図2）。

(2) 次世代育成支援

社員が働きながら子育てを行うための特別休暇や育児休業、時間外勤務制限・短時間勤務・始終業時刻変更・テレワーク、育児休業者の復職支援などの制度を設けています。

2013年度～2014年度までの期間中のテレワーク制度の導入や有給休暇取得促進の取組みなどが特に評価され、2015年に次世代育成支援対策推進法に基づく「子育てサポート企業」として厚生労働省東京労働局長から認定を受け、「くるみんマーク」を取得しました（図3）。

(3) 外国人採用

グローバル事業の推進や会社の国際

化・活性化を図るため、日本の大学を卒業した外国人留学生を継続的に採用しています。2016年度は2名の外国人を新卒で採用しています。

(4) 再雇用制度

定年退職後も働く意欲のある社員には長年培った技術や経験を活かしてもらえるように、定年退職者の再雇用制度や退職者を臨時で雇用する登録社員制度を用意し、法定どおり65歳まで多様な働き方ができる機会を提供しています。これらの取組みにより、当社の技術力を将来にわたって確保し、技能を継承していくことにもつながっています。

(5) 障がい者雇用

事務職を中心に障がい者雇用を行っており、障がいの程度に合わせた職務に配慮しながら社員と同一のオフィスで机を並べています。2015年度は、退職者が多く前年よりも雇用数・率と

も下回り、また、全国平均の1.88%と同じ割合となりました。長く働き続けられるよう引き続き活躍できる機会を提供し、法定雇用率2.0%を達成すべく継続的に障がい者雇用に取り組んでいきます。

おわりに

当社名にある「エクシオ」は、ラテン語で「殻を破る」という意味が込められています。当社グループは、経営環境の変化に柔軟に対応するとともに、お客様のさまざまなニーズに応えられるよう、ビジネススタイルを変革していくことが新たなチャンスにつながると考えています。当社グループの多様な人財と長年培ってきた技術力を結集し、今後も変化をおそれず挑戦し続けていきます。



図2 認定マーク「えるぼし」



図3 認定マーク「くるみん」